

1. 投稿資格

投稿は本会会員に限る。但し、会員以外の共著者を含むことは差し支えない。

2. 投稿原稿

2-1 種類

1) 原報文、2) ノート、3) 総説、4) 解説、5) 資料とする。但し、原報文およびノートは未発表のものであること。

2-2 用語

日本語、英語のいずれかとする。

2-3 作成

原稿は原則としてワープロソフトを使用し、投稿規定および執筆要領に従って作成する。ワープロソフトにはMicrosoft Wordの使用を推奨する。

2-4 受付および受理年月日

投稿原稿が本学会に到着した日を受付の年月日とし、審査を経て、編集幹事が掲載可と認めた日を受理の年月日とする。

3. 投稿原稿の内容および形式

3-1 原報文 (英文原稿: Originals、以下同様)

水処理生物学およびそれに関係のある有意義な新事実や新技術を含むもので、原則として図表や写真を含めて、本誌刷上り8頁以内とする。

3-2 ノート (Notes)

完結していない研究結果であってもよいが、水処理生物学およびそれに関係のある有意義な新事実や新技術を含むもので、原則として図表や写真を含めて、本誌刷上り6頁以内とする。

3-3 総説 (Reviews)

水処理生物学に関する全ての分野での多くの研究成果を要約し、その進歩を論説したもので、原則として図表や写真を含めて、本誌刷上り12頁以内とする。

3-4 解説 (Technical notes)

水処理生物学およびそれに関係のある有用な理論、技術、トピックスなどを平易かつ簡潔に解説したもので、原則として本誌刷上り10頁以内とする。

3-5 資料 (Technical notes)

水処理生物学の分野に関する法律や基準、有用なデータ (統計的歴史的資料を含める) および調査資料などを客観的かつ簡潔に要約したもので、原則として本誌刷上り10頁以内とする。

4. 原稿の審査・変更・再提出・掲載

4-1 採否

投稿原稿は査読要領に従って審査され、その採否は編集幹事が決定する。なお、1報として長い原稿の取り扱いには編集幹事に一任する。

4-2 変更

編集幹事は投稿原稿の種類 (2-1 を参照) の変更を求めることもある。

4-3 再提出

修正・加筆等を求められた原稿は速やかに再提出しなければならない。

特別の理由もなく返送の日から3カ月以内に再提出されない場合には、投稿の意志がないものとして処理することがある。

4-4 掲載

審査を経て、掲載可と認められた原稿は、原則として受付年月日の順に掲載するが、編集の都合上前後することがある。

5. 手 続

5-1 投 稿

ワープロソフトで作成した原稿の投稿は原則としてPDFファイルで行なう。本文(和文・英文アブストラクト、図表、Figure captionを含む)を1つの電子ファイルで保存し、原稿送り状とともに、本会ホームページの電子投稿・査読システムを通じて編集幹事宛に送付する。

本会ホームページ：

<http://www.jswtb.jp/toko/>

問合せ先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

大阪大学大学院工学研究科環境・

エネルギー工学専攻気付

日本水処理生物学会事務局

jswtb@see.eng.osaka-u.ac.jp

TEL 06-6879-7673 FAX 06-6879-7675

5-2 掲 載

審査を経て掲載可の通知を受けた後、直ちに最終原稿の電子ファイル(Microsoft Word形式、図・写真はMicrosoft PowerPointの他、JPEG、EPS、TIFF形式とする)を電子投稿・査読システムにより提出する。なお、最終原稿は受理された原稿と同一とし、審査終了後の論文内容の修正、加筆、削除等は原則として認めない。また、論文内容に対する最終責任は著者が負うものとする。

6. 校 正

校正は初校のみを著者にて行うこととする。

7. 別刷部数および費用

別刷部数は50部単位で、費用の計算は次に定める別刷料金表の通りとする。

別刷料金表

頁	50部	100部	150部	200部
1～8	6,500円	8,000円	9,500円	11,000円
9～12	9,000円	10,500円	12,000円	13,500円
13～16	11,500円	13,000円	14,500円	16,000円